

別れの時を迎え、胸の中を巡るのは、共に綴ったかけがえのない思い出の数々。時に笑って、時には泣いて、本当に色々なことがありましたが、夫婦ふたり喧嘩したことすら今は愛おしく甦り、温かく心を満たします。そして、「ありがとう、ありがとう」と感謝の想いが止めどなく溢れてきます。もう会って話すことが出来ないと思えば、言いたくない悲しみが込み上げますが、遙か空から見守る温かな眼差しに報いるよう、悲しみに暮れることなく前を向き精いっぱい頑張つてまいりたいと存じます。

夫みち太郎は、平成二十二年二月二十日、素晴らしい出逢いと絆に恵まれた五十二年の生涯を過ごしました。

お世話になった全ての皆様へ、生前賜りました多くのご厚誼に深く感謝申し上げます。本日のご会葬誠に有難うございました。

略儀ながら書状をもつて厚く御礼申し上げます。

平成二十二年二月二十二日

鹿児島県鹿屋市田崎町四五六七

喪主

妻

みち花子

長男

みち浩一

嫁

みち綾

二男

みち良太

嫁

みち優子

長女

みち智美

親族代表

響一郎

外親族一同

宗旨

仏式 浄土真宗本願寺派 西楽寺

尚香典返しの際は、勝手ながら「鹿屋市社会福祉協議会」に寄附させて頂きますので、ご了承下さい。

(南)みち葬祭 謹製